

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	中部胆管癌に対する PD と胆管切除の比較
	研究目的	<p>【背景】胆管癌切除においては、サージカルマージンの陰性化が重要である。したがって、肝外胆管癌に対しては通常葉切除 + 肝外胆管切除、もしくは膵頭十二指腸切除(PD)、あるいはその両者を行なう HPD が選択されることが多い。しかしながら、症例によっては肝切除や PD を付加することなく、R0 切除が可能な限局した中部胆管癌症例も存在する。このような症例に対して、胆管切除(BDSR; bile duct segmental resection)を行なうことが適切かどうかは不明である。一方で日本の胆道癌登録データでは、PD 群と BDSR 群の全生存率に差を認めなかった。BDSR 後に十二指腸側胆管断端が陽性であった場合には PD を追加(AdPD; additional PD)することも有り得るが、このように術中に一旦癌を露出している AdPD 症例が、当初から PD を行なった症例と同等の予後が得られるかどうか不明である。</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中部胆管癌症例に対する BDSR, PD の予後を比較する 2. BDSR 後に断端陰性化目的の追加 PD(AdPD)の予後が、当初から PD を行なった症例と同等かどうかを検討する 3. PD の予後が AdPD 症例よりも良好であれば、中部胆管癌の術式としては PD が推奨される。AdPD の予後が通常の PD よりも良い、あるいは同等であれば、まず BDSR を行い、断端が陽性であれば PD を追加すれば良い事になる
	研究期間	2015 年 10 月 29 日から 2022 年 8 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	森永聡一郎
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし

